



## 「～コロナに負けるな～私の主張青少年作文コンクール」 作品募集

コロナ禍において、学校の休業や新しい生活様式への対応など、これまでの状況が大きく変わり、さまざまな課題や困難に直面した中、この経験や思いを伝え、未来に向けての決意を込めた作文を募集します。

**募集テーマ** コロナ禍における「私の思いや決意」

**募集作文** 400字詰め原稿用紙2～3枚で、1人1作品

**対象者** 小学生低学年（1～3年）の部、小学生高学年（4～6年）の部、中学生の部、高校生の部、大学（院）生・専門学生の部、一般の部（30歳未満の人）

※優秀作品には賞状と記念品を授与します。

**応募方法** 応募用紙に必要事項を記入し、1月4日(月)～31日(日)（消印有効）に、☎584-8511常盤町1の1 生涯学習課〔☎(26)8056〕へ郵送または持参

※メールでの応募も可、標題に「作文コンクール応募」と明記し、部門、住所、氏名、年齢、学生は学校名、電話番号を記入し、作文を添付の上、同課〔Eメールs-gaku@city.tondabayashi.lg.jp〕へ。

※詳しくは、市ウェブサイト（生涯学習課のページ）をご覧ください。

もうお済みですか？期限が迫っています

ひとり親世帯臨時特別給付金（2月26日(金)まで）

同給付金の申請は2月26日(金)までです。対象者で申請がまだの人は、早めの申請をお願いいたします。

**支給対象者**

- 基本給付（1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円） 児童扶養手当を受給しているひとり親世帯などで、次のいずれかに該当する人
- ①令和2年6月分の児童扶養手当の受給者
- ②公的年金などの受給により令和2年6月分の児童扶養手当の支給を受けていない人
- ③新型コロナウイルス感染症の影響により、直近の収入が児童扶養手当の支給対象水準に下がった人

■追加給付（1世帯5万円）

基本給付対象の①または②に該当する人のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した人

**申請方法**

基本給付対象者の①・②令和2年8月に支給済みです。

基本給付対象者の②③、追加給付の申請が必要です（申請期間 2月26日(金)まで）。申請方法など詳しくは、市ウエ

ブサイト（こども未来室のページ）をご覧ください。お問い合わせください。

高年齢者のインフルエンザ予防接種（無料）（1月31日(日)まで）

対象者 満65歳以上で希望する人、または、満60歳以上65歳未満で心臓・腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能に障がいがあり、身体障害者手帳1級または同程度の障がいがある人で希望する人

接種費用 無料  
※かかりつけの医療機関が河内長野市、大阪狭山市、羽曳野市にある場合は接種可能か医療機関へお問い合わせください。

※指定医療機関以外の医療機関で接種される場合は、事前に依頼書発行などの申請が必要。また、接種費用（令和2年度は接種費用の全額）を返還する償還払い制度があります。詳しくは、お問い合わせください。

お問い合わせ 保健センター  
☎(28)5520

市長  
コラム

東奔西走

吉村 善美



新たな年を迎え、市民の皆様にとって本年がより良き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年は、世界が「コロナ禍」という未曾有の大災害に見舞われた年でした。感染された市民の皆様やそのご家族の皆様を心寄せながら、引き続き「心をひとつに～みんなと一緒にコロナを乗り越えよう」を合言葉に、全ての市民の皆様と共に、この「コロナ禍」を乗り越えていきたいと思っております。

また本年は、東日本大震災から10年、アメリカ同時多発

テロから20年という年になります。改めて、命の尊さや助け合うこと、平和の大切さを再確認する年になると思っております。

さて、NHKでは本市出身の名女優・浪花千栄子さんをモデルとした「おちよやん」が引き続き放映されています。その中で描かれている「おちよやん」の決してへこたれることなく、前向きに挑戦する「勇気」や「ど根性」に感銘しました。

私も市長として、どんな困難があろうとも、市民の皆様と共に「人とまちがにぎわい、富田林に生まれて良かった、暮らして良かった」と思えるまちの実現に向けて、邁進していく決意です。

本年も皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。